

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	3	生涯学習の推進
基本施策	1	生涯学習

目指す姿	①だれでも自由に学習できる環境が整備され、生きがいや楽しみを感じている。 ②生涯学習の成果が地域社会に還元され、魅力あるまちづくりに貢献している。
------	--

1 目指す姿の進捗度

設問①	だれでも自由に学習できる環境が整備され、生きがいや楽しみを感じている。													
1-1 市民実感度評価						1-2 事業者実感度評価								
回答	件数	比率	得点評価	前回得点評価	回答	件数	比率	得点評価	前回得点評価	回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	18	3.4%	4.6%	4.6	4.0%	4.0	そう思う	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0	
どちらかというと思う	130	24.6%	32.9%	24.7	27.4%	20.6	どちらかというと思う	10	14.5%	19.2%	14.4	14.4	14.4	
どちらとも言えない	180	34.1%	45.6%	22.8	44.1%	22.1	どちらとも言えない	33	47.8%	63.5%	31.7	31.7	31.7	
どちらかというと思わない	50	9.5%	12.7%	3.2	15.7%	3.9	どちらかというと思わない	5	7.2%	9.6%	2.4	2.4	2.4	
そう思わない	17	3.2%	4.3%	0.0	8.8%	0.0	そう思わない	4	5.8%	7.7%	0.0	0.0	0.0	
わからない	111	21.0%					わからない	15	21.7%					
無回答	22	4.2%					無回答	2	2.9%					
総数	528	100.0%					総数	69	100.0%					
有効回答数	395		100.0%	55.2	100.0%	50.5	有効回答数	52		100.0%	48.6	48.6	48.6	
評価①			c			c			評価①			c		
設問②	生涯学習の成果が地域社会に還元され、魅力あるまちづくりに貢献している。													
回答	件数	比率	得点評価	前回得点評価	回答	件数	比率	得点評価	前回得点評価	回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	20	3.7%	5.6%	5.6	3.0%	3.0	そう思う	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0	
どちらかというと思う	87	16.2%	24.2%	18.2	27.9%	20.9	どちらかというと思う	12	17.4%	23.1%	17.3	17.3	17.3	
どちらとも言えない	171	31.8%	47.6%	23.8	42.2%	21.1	どちらとも言えない	30	43.5%	57.7%	28.8	28.8	28.8	
どちらかというと思わない	50	9.3%	13.9%	3.5	16.0%	4.0	どちらかというと思わない	6	8.7%	11.5%	2.9	2.9	2.9	
そう思わない	31	5.8%	8.6%	0.0	10.9%	0.0	そう思わない	4	5.8%	7.7%	0.0	0.0	0.0	
わからない	151	28.1%					わからない	14	20.3%					
無回答	27	5.0%					無回答	3	4.3%					
総数	537	100.0%					総数	69	100.0%					
有効回答数	359		100.0%	51.0	100.0%	49.0	有効回答数	52		100.0%	49.0	49.0	49.0	
評価②			c			c			評価②			c		
市民実感度評価			c			c			事業者実感度評価			c		

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民・事業者満足度調査 平成24年5月実施】

2-1 指標評価

No.	指標名	この指標について	指標の動向			
1	生涯学習まちづくり人材バンク登録者数(人)	専門的な知識や経験、技能等を生涯学習のまちづくりに活かすための人材登録制度の登録者数。登録者数を増やすことにより、知識や技能の社会還元を目指します。				
	担当課	指標区分	計画当初値	直近値	目指す値	
	生涯学習課	参考指標	H20	H24	H25	
	アウトプット		94	87	127	
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度①	評価	
pD	目標が未達成(c以下)の場合の理由	生涯学習まちづくり人材バンク登録者数	100	-27%	e	
			<外的要因の有無:□有 ■無> 活用業績のない登録者が更新登録を辞退したため。			
2	自主学習グループによる市民向け学習会の開催回数(回)	自主学習グループが広く市民を対象に実施する学習会の開催回数。生涯学習の成果の社会還元化、ボランティア意識の高まりが数値として表れますが、現状においても活動が活発に行われていることから、その水準の維持を目指します。				
	担当課	指標区分	計画当初値	直近値	目指す値	
	生涯学習課	重点指標	H20	H24	H25	
	アウトプット		229	229	229	
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度①	評価	
pD	目標が未達成(c以下)の場合の理由	広報掲載件数	209	100%	a	
			<外的要因の有無:□有 □無>			
3	市民1人当たりの図書貸出冊数(冊)	図書の年間貸出冊数/総人口。市民の学習意欲を示す数値の一つであり、図書サービスや利便性の向上を図り、市民1人当たりの貸出冊数の増加を目指します。				
	担当課	指標区分	計画当初値	直近値	目指す値	
	図書館	重点指標	H20	H24	H25	
	アウトプット		10.6	10.8	11.2	
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度①	評価	
pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	図書館統計	11.1	42%	c	
			<外的要因の有無:□有 ■無>雑誌の貸出冊数の減少率が大きく、資料費削減により雑誌の購入数を減らした影響と考えられる。			

[指標1・3の評価基準] 達成度①:「増加目標」 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下

[指標2の評価基準] 達成度①:「増加目標」 a:0%以上 b:▲3%以上0%未満 c:▲9%以上▲3%未満 d:▲15%以上▲9%未満 e:▲15%未満

[目標設定パターン] pA:生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、pB:国県の目標等に合わせて設定、pC:全国平均水準にあわせて設定、pD:過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

2-2 代替指標

■補助指標

No.	指標名	この指標について	主体	進捗	H22	H23	H24	H25	評価
1	生涯学習まちづくり人材バンク登録者の活用件数(件)	専門的な知識や経験、技能等を生涯学習のまちづくりに活かすための人材バンク登録者の活用件数を新しく指標とする。	行政・行政以外	目標	464	474	484	500	b
				実績	464	330	350		
3	施設の満足度(市民満足度調査)	「図書館」の満足度は62.1点で前回の61点を上回った。	市民	目標				65点	a
				実績	61点		62.1点		

[評価基準] 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下

2-3 客観指標評価

<b>客観指標評価</b> (代替指標に置き換えて平均値を算定)	<b>a</b>
----------------------------------	----------

3-1 市民の役割分担状況

3-3 事業者の役割分担状況

設問	生涯学習の必要性と目的を理解し、積極的に生涯学習活動を行っている。				設問	施設の開放など、生涯学習活動を支援している。				
	回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
	十分取り組んでいる	12	2.4%	2.6%	2.6	十分取り組んでいる	1	1.4%	1.5%	1.5
	取り組んでいる	47	9.4%	10.0%	7.5	取り組んでいる	4	5.8%	6.2%	4.6
	少し取り組んでいる	66	13.2%	14.1%	7.1	少し取り組んでいる	9	13.0%	13.8%	6.9
	あまり取り組んでいない	124	24.8%	26.5%	6.6	あまり取り組んでいない	22	31.9%	33.8%	8.5
	全く取り組んでいない	219	43.8%	46.8%	0.0	全く取り組んでいない	29	42.0%	44.6%	0.0
	無回答	32	6.4%			無回答	4	5.8%		
	総数	500	100.0%			総数	69	100.0%		
	有効回答数	468		100.0%	23.8	有効回答数	65		100.0%	21.5
	評価				e	評価				e

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民・事業者満足度調査 平成24年5月実施】

3-2 地域活動等の役割分担

役割項目	評価	役割分担状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習成果を地域社会に還元する。</li> <li>・生涯学習ボランティアやコーディネーターとして、地域の生涯学習推進に寄与する。</li> <li>・生涯学習まちづくりアニメーターとして生涯学習推進の仕掛け人となる。</li> </ul>	b	<p>&lt;生涯学習課:b&gt;                      自主学習グループ等が、地域社会における生涯学習活動を行い市民対象とした公開講座を開催した際には、行政が広報や市のホームページに情報提供するとともに補助金による支援を行う。</p> <p>&lt;図書館:b&gt;                      「生駒おはなしの会」は、図書館主催・共催事業や出前授業に協働し、学校等との連携が進む中、不可欠の存在となっている。おはなし以外にも研修を重ね、活動分野を積極的に広げるとともに、新会員や活動に興味を持つ市民の育成に寄与している。また、生駒の昔話を子どもたちに語れるように収集し、編集作業を進めた。地域文庫は、少子化が進む中、活動に工夫をこらし、育児支援を含めた地域社会に根付いた活動を行っている。「音訳グループやまびこ」は障がい者の福祉に関する雑誌を音訳している。</p>

[評価基準] a:十分取り組んでいる b:取り組んでいる c:少し取り組んでいる d:あまり取り組んでいない e:全く取り組んでいない

3-4 行政の役割分担

(1)市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の目標水準	行政以外の主体の役割	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
17	いこま寿大学を充実するとともに、OB会等との共催事業を実施します。	いこま寿大学の充実	寿大学生にとって地域や家庭などで必要になる介護予防講習会、認知症サポーター講習会、健康ストレッチ体操などの実務講習会をH24年度から開催する。	開催回数10回以上	寿大学の学生が大学4年間で学習を通して生きがいを持ち、教養を高め、地域の生涯学習推進者となる。	a	平成25年3月末:16回開催		指標	生涯学習課
市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組状況						a				

B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の主体の役割	進捗上の課題	担当課
11	市民の学習成果を還元する学習会の開催を継続して支援します。	生涯学習振興事業(自主学習グループ)	各々の自主学習グループが学習活動を通して学んだ知識や技術を地域に還元することを奨励する目的とし、又文化祭の一環として自主学習グループフェスタ(成果発表会)を開催する。	広報等の媒体を通じて、自主学習活動に興味を持ち、積極的に参加する。		生涯学習課

15	学校やボランティア団体等との連携を一層推進します。	青少年健全育成事業等	各体験事業・野外活動事業・放課後子ども教室等を開催するにあたり、協力していただけるボランティア団体を拡充するとともに、団体と市との連携を強化する。						生涯学習課
16	大学との連携により、学習ニーズに合致した講座を開催します。	市民カレッジ事業	団塊世代の新たな人生に対してサポートするとともに、福祉・子育て・まちづくり・文化・体育・環境などさまざまな分野の地域コミュニティ活動の課題を解決し、活力ある地域をつくるため、市民に学習機会を提供し、学んだ成果を社会に還元することを目的に、近隣大学の協力を得て、市民ニーズに沿った講座を開催します。	指定管理者において、市民ニーズにあった講座を実施する。	指定管理者の自主事業については、市民ニーズを勘案し、指定管理者と協議の上で決定していく。				生涯学習課
17	いこま寿大学を充実するとともに、OB会等との共催事業を実施します。	高齢者教育推進事業	卒業後は地域社会の生涯学習推進者として活躍することを目的に事業を実施している。	学んだ成果を地域や家庭で実践していただく。					生涯学習課

(2) 行政が主体的に実施する取組状況

A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の目標水準	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
22	生涯学習まちづくり人材バンクを充実し、活用を推進します。	生涯学習まちづくり人材バンクの運営	100件(個人・団体)以上の登録を目指す。	登録者数100件	c	平成25年3月末:84件	高齢化により継続更新者の減PR不足	指標	生涯学習課
24	学校やボランティアとの一層の連携を含め、子ども読書活動の推進を図ります。	子ども読書活動の推進	学校等に対しこれまでに作成したブックリスト配布や掲載図書等の団体貸出を行うとともに、出前ブックトーク、出前おはなし会、出前絵本の会等を実施する。	団体貸出は20団体・50回、出前ブックトーク・おはなし会・絵本の会等は6,000人に実施を目指す。	a	団体貸出は25団体・75回、出前ブックトーク・おはなし会・絵本の会等は8,663人に実施した。		その他	図書館
25	団塊の世代や現在図書館を活用していない世代等のニーズを把握し、資料の拡充、インターネットの活用など、図書サービスを充実します。	図書館サービスの充実	市民のニーズを把握し、資料の拡充、インターネットの活用など図書館サービスの充実を図る。	市民1人当たりの図書貸出冊数は11.1冊を目指す。	c	市民1人当たりの図書貸出冊数は10.8冊であった。	雑誌の貸出冊数の減少率が大きく、資料費削減により雑誌の購入数を減らした影響と考えられる。	指標	図書館
<b>行政が主体的に実施する取組状況</b>					<b>b</b>				

B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	進捗上の課題	担当課
21	多様な学習機会の提供と、成果や情報を提供できる機会の充実を図ります。	生涯学習振興事業(自主学習グループ)	各々の自主学習グループが学習活動を通して学んだ知識や技術を地域に還元することを奨励する目的とし、又文化祭の一環として自主学習グループフェスタ(成果発表会)を開催する。	高齢化が進む中、登録グループ数が減少傾向にある。	生涯学習課
		各生涯学習施設・設備の整備	市民の生涯学習の向上に資するため生涯学習各施設の改修等施設及び設備の整備を進める。	施設の老朽化が進み、施設の補修、改修に要する費用が今後いっそう増加する見込みである。	施設管理課
		各生涯学習施設の文化事業の実施	各生涯学習施設において、指定管理者による質の高い文化芸術事業を展開する。		生涯学習課
22	生涯学習まちづくり人材バンクを充実し、活用を推進します。	生涯学習まちづくり人材バンク事業	生涯学習に関する専門的な知識や経験、技能等を有している人材を発掘し、その情報を提供することにより、市民の多様な学習活動を支援し、豊かな地域社会をつくるために創設した「生涯学習まちづくり人材バンク事業」を運用していきます。	登録者の活用状況に偏りがあり、活用されない人材が登録を更新されない状況となっている。	生涯学習課
23	市民ニーズの把握に努め、施設予約の簡素化や使用時間区分の見直しなど、利用者にとって利便性の高い生涯学習施設の運営を行います。		社会教育施設使用料等の見直しを行った。		生涯学習課

24	学校やボランティアとの一層の連携を含め、子ども読書活動の推進を図ります。	生駒市子ども読書活動連絡調整会議	子どもが、自ら本に手を伸ばし、読書の楽しさを共有できるよう、また、家庭・地域・学校など、子どもの身近にいる大人たちが、読書の重要性を再認識し、連携のための具体案の作成など、5カ年の実施計画で、子どもの読書環境の整備を図っていくためのもの。		図書館
		子ども読書活動推進事業	(H24) ・絵本の会2,631人、おはなし会3,881人、出前授業等8,663人 ・児童対象行事1,260人 ・ブックリスト掲載図書団体貸出25団体、75回、19,157冊、学校・文庫等団体貸出8,975冊 ・ボランティア養成講座及び児童文学関係講座473人 ・生駒おはなしの会及び文庫との共催・協力事業626人		図書館
25	団塊の世代や現在図書館を活用していない世代等のニーズを把握し、資料の拡充、インターネットの活用など、図書サービスを充実します。	図書館システム更新(インターネット予約追加)事業	H21年度に、インターネットや館内利用者用端末からの図書館資料の予約や貸出延長ができるように、図書館システムの更新を図った。(H24)ホームページアクセス回数272,372回、インターネット蔵書検索回数368,460回		図書館

〔評価基準〕 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

4 総合評価

		H22	H23	H24
1 目指す姿の進捗度	市民実感度	c	c	c
	事業者実感度	-	c	c
↑ 1(市民)と2(客観)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓		市民満足度調査における施設の満足度では、図書館は61点であった。	人材バンクにおいて、登録者数が減少したこと、自主学習グループ市民対象講座において、登録グループ数が減少した結果等により、目標を下回ったが、一定の満足度が成果として得られた。	自主学習グループの社会還元活動や人材バンクの活用が活発に行われているなど、一定の水準を維持している一方、登録者数の減少などから、市民・事業者満足度にはさほど影響がなかったと思われる。
2 客観指標評価		b	d	a
↑ 2(客観)と3(行政)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓			人材バンクにおいて、登録者数が減少したこと、自主学習グループ市民対象講座において、登録グループ数が減少した結果等により、目標を下回ったが、地域団体や行政は積極的に取り組んでいる。	
3 役割分担状況	市民	b	e	e
	地域活動等	b	b	b
	事業者	b	e	e
	行政	支援する取組	b	-
主体的な取組		a	b	b
総合評価(主担当課の内部評価)		C	C	C
現状の課題と今後の取組(内部評価がD以下の場合記入)				

〔評価基準〕 A:目標が十分に達成されている B:目標がかなり達成されている C:目標がそこそこ達成されている D:目標があまり達成されていない E:目標が達成されていない

5 総合計画審議会の意見

進捗状況の内部評価についての意見			
今後の取組についての意見		前年度最終評価	C
内部評価を変更した場合の理由		最終評価	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	3	生涯学習の推進
基本施策	2	青少年

目指す姿	①地域、学校、家庭の連携のもと、青少年が「生きる力」と「心豊かな人間性」を身につけ、健やかに成長している。 ②子どもたちが安全・安心に遊べて、地域の人たちと交流する場が整っている。 ③地域社会の中でリーダーとして積極的に活動できる青少年が育っている。
------	---

設問① 地域、学校、家庭の連携のもと、青少年が「生きる力」と「心豊かな人間性」を身につけ、健やかに成長している。

1-1 市民実感度評価							1-2 事業者実感度評価				
回答	件数	比率	得点評価		前回得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	23	4.3%	6.3%	6.3	2.9%	2.9	そう思う	0	0.0%	0.0%	0.0
どちらかというと思う	113	21.0%	31.0%	23.2	24.9%	18.7	どちらかというと思う	13	18.8%	25.5%	19.1
どちらとも言えない	160	29.8%	43.8%	21.9	46.2%	23.1	どちらとも言えない	27	39.1%	52.9%	26.5
どちらかというと思わない	45	8.4%	12.3%	3.1	17.0%	4.3	どちらかというと思わない	6	8.7%	11.8%	2.9
そう思わない	24	4.5%	6.6%	0.0	9.0%	0.0	そう思わない	5	7.2%	9.8%	0.0
わからない	148	27.6%					わからない	16	23.2%		
無回答	24	4.5%					無回答	2	2.9%		
総数	537	100.0%					総数	69	100.0%		
有効回答数	365		100.0%	54.5	100.0%	48.9	有効回答数	51		100.0%	48.5
評価①			c		c		評価①			c	

設問② 子どもたちが安全・安心に遊べて、地域の人たちと交流する場が整っている。

回答	件数	比率	得点評価		前回得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	27	5.4%	7.1%	7.1	2.6%	2.6	そう思う	1	1.4%	1.9%	1.9
どちらかというと思う	95	19.0%	24.9%	18.7	24.6%	18.5	どちらかというと思う	6	8.7%	11.1%	8.3
どちらとも言えない	151	30.2%	39.5%	19.8	39.2%	19.6	どちらとも言えない	32	46.4%	59.3%	29.6
どちらかというと思わない	80	16.0%	20.9%	5.2	18.9%	4.7	どちらかというと思わない	9	13.0%	16.7%	4.2
そう思わない	29	5.8%	7.6%	0.0	14.7%	0.0	そう思わない	6	8.7%	11.1%	0.0
わからない	85	17.0%					わからない	11	15.9%		
無回答	33	6.6%					無回答	4	5.8%		
総数	500	100.0%					総数	69	100.0%		
有効回答数	382		100.0%	50.7	100.0%	45.4	有効回答数	54		100.0%	44.0
評価②			c		c		評価②			d	

設問③ 地域社会の中でリーダーとして積極的に活動できる青少年が育っている。													
回答		件数	比率	得点評価		前回得点評価		回答		件数	比率	得点評価	
そう思う		9	1.7%	2.7%	2.7	2.3%	2.3	そう思う		0	0.0%	0.0%	0.0
どちらかというと思う		56	10.6%	16.9%	12.7	9.6%	7.2	どちらかというと思う		4	5.8%	8.2%	6.1
どちらとも言えない		168	31.8%	50.8%	25.4	45.7%	22.9	どちらとも言えない		24	34.8%	49.0%	24.5
どちらかというと思わない		61	11.6%	18.4%	4.6	22.5%	5.6	どちらかというと思わない		13	18.8%	26.5%	6.6
そう思わない		37	7.0%	11.2%	0.0	19.9%	0.0	そう思わない		8	11.6%	16.3%	0.0
わからない		176	33.3%					わからない		16	23.2%		
無回答		21	4.0%					無回答		4	5.8%		
総数		528	100.0%					総数		69	100.0%		
有効回答数		331		100.0%	45.4	100.0%	38.0	有効回答数		49		100.0%	37.2
評価③				c		d		評価③				d	
市民実感度評価				c		c		事業者実感度評価				d	

〔評価基準〕 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民・事業者満足度調査 平成24年5月実施】

2-1 指標評価

No.	指標名	この指標について	指標の動向						
1	青少年指導委員による巡回指導回数(回)	約120名の市民等に委嘱している青少年指導委員による巡回指導回数。登下校時や夜間等に巡回指導することにより、青少年の非行防止や安全確保を目指します。				計画当初値	直近値	目指す値	
				H20	H24	H25			
				171	192	185			
			担当課	指標区分	H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度①	評価		
			生涯学習課	参考指標 アウトプット	177	188%	a		
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	青少年指導委員巡回報告カード	調査サイクル	1年				
	pD	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無:□有 □無>						
2	青少年の健全育成についての市民満足度(点)	平成18年度に実施した「まちづくりに関するアンケート調査」における一般市民の青少年の健全育成の満足度。現状値が50点に満たないため、平成30年度には50点を、平成25年度にはその中間値を目指します。				計画当初値	直近値	目指す値	
				H18	H24	H25			
				41.3	46.1	46.0			
			担当課	指標区分	H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度①	評価		
			生涯学習課	参考指標 アウトカム	44.0	119%	a		
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	市民満足度調査	調査サイクル	2年				
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無:□有 □無>						

〔評価基準〕 達成度①:「増加目標」・達成度②:「減少目標」 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下

〔目標設定パターン〕 pA:生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、pB:国県の目標等に合わせて設定、pC:全国平均水準にあわせて設定、pD:過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

2-2 代替指標

■補助指標

No.	指標名	この指標について	主体	進捗	H22	H23	H24	H25	代替指標評価
1	青少年指導委員による巡回指導回数及び情報交換・提供・中学校区毎の交流回数(回)	約120名の市民等に委嘱している青少年指導委員による巡回指導回数及び活動単位になる中学校区毎の情報交換や、交流会、研修会などの回数。登下校時や夜間等に巡回指導することにより、青少年の非行防止や安全確保を目指すとともに、地域の実情にあった活動をするための情報交換や研修会などの回数。	行政以外	目標	197	200	210	210	a
				実績	197	155	206		
2	青年層リーダーの育成数(人)	あすなる会の運営や成人式運営委員を経験してから、生駒市の青年層リーダーになった人数。	行政・市民	目標			15	15	a
				実績		14	21		

[評価基準] 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下

2-3 客観指標評価

<b>客観指標評価</b> (代替指標に置き換えて平均値を算定)	<b>a</b>
----------------------------------	----------

3-1 市民の役割分担状況

3-3 事業者の役割分担状況

設問	地域で子どもを育てようという意識を持っている。				設問	青少年の活動に対して支援、協力している。			
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	39	7.3%	7.8%	7.8	十分取り組んでいる	2	2.9%	3.1%	3.1
取り組んでいる	85	15.8%	17.0%	12.8	取り組んでいる	3	4.3%	4.6%	3.5
少し取り組んでいる	157	29.2%	31.5%	15.7	少し取り組んでいる	15	21.7%	23.1%	11.5
あまり取り組んでいない	136	25.3%	27.3%	6.8	あまり取り組んでいない	18	26.1%	27.7%	6.9
全く取り組んでいない	82	15.3%	16.4%	0.0	全く取り組んでいない	27	39.1%	41.5%	0.0
無回答	38	7.1%			無回答	4	5.8%		
総数	537	100.0%			総数	69	100.0%		
有効回答数	499		100.0%	43.1	有効回答数	65		100.0%	25.0
評価				d	評価				e

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民・事業者満足度調査 平成24年5月実施】

3-2 地域活動等の役割分担

役割項目	評価	役割分担状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会が活動できる場や機会を提供する。</li> <li>子ども会組織を充実させる。</li> <li>家庭・学校との連携を強化し、青少年の非行防止活動に取り組む。</li> <li>地域ぐるみの児童生徒健全育成事業推進協議会の活動に参加・協力する。</li> </ul>	b	・ちびっこ文化祭の開催など、子ども会として活発に活動しているが、加入団体については減少傾向にあり、今後、イベント内容により工夫を加え、「市子連の日」に「ちびっこスポーツフェスタ」を開催するなど、より楽しく充実した内容の開催に努めるとともに、事業内容や活動についても積極的にPRを行っていく。 ・青少年指導委員活動については、各中学校区において継続して活動をしていただいている。巡回指導回数、延べ人数ともに23年度に比べて大きく伸び、24年6月から青少年指導委員会を発足したことにより、生駒駅前周辺巡回指導等校区を超えた連携のもと、青少年の安全確保及び非行防止に努めることができた。また、地域ぐるみの児童生徒健全育成事業推進協議会については、青少年指導委員会との人的交流も盛んであり、登録している市民も両方に参加している方も多い。

[評価基準] a:十分取り組んでいる b:取り組んでいる c:少し取り組んでいる d:あまり取り組んでいない e:全く取り組んでいない



3-4 行政の役割分担

(1) 市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の目標水準	行政以外の主体の役割	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
11	青少年健全育成に関する情報提供や啓発活動の支援を行います。	青少年健全育成に関する情報提供や啓発活動の推進	生涯学習施設の指定管理者とも連携して、青少年健全育成事業を10回実施し、市民満足度調査において44.0点を目指す。	青少年の健全育成についての市民満足度44.0点	(市民)関係団体役員等が中心となって活動を行う計画・実施する。	a	平成25年3月末青少年健全育成事業20回実施 啓発事業10回実施 青少年の健全育成についての市民満足度46.1点		指標	生涯学習課
12	青少年の教育のため、地域、学校、家庭が連携できる環境づくりや取組の支援を行います。	青少年指導委員による巡回指導	177回以上の巡回指導を目指す。	巡回指導回数177回	(市民)市内各学校の教師、PTA役員、自治会員等が中学校区ごとに活動を行う計画し、実施する。	a	平成24年度:206回実施		指標	生涯学習課
市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組状況						a				

B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の主体の役割	進捗上の課題	担当課
11	青少年健全育成に関する情報提供や啓発活動の支援を行います。	青少年健全育成事業	広報紙・ホームページを通して、または冊子を作成することにより、青少年健全育成の啓発に努める。また、青少年健全育成団体が行う事業について、広報紙・ホームページで情報提供を行う。	(市民)情報提供や啓発活動の内容に関心をもつ。		生涯学習課
12	青少年の教育のため、地域、学校、家庭が連携できる環境づくりや取組の支援を行います。	青少年非行防止地域実践活動事業	各中学校区の青少年指導委員と協力して巡回活動・街頭指導を行い、青少年の非行防止に努める。	(市民)青少年の非行・被害防止のため、各中学校区ごとに指導巡回を中心とした活動を行う。		生涯学習課
13	青少年リーダー・地域リーダーの積極的な養成を行います。	あすなろ会の運営・ジュニアリーダー研修会の実施	あすなろ会の運営やジュニアリーダー研修会を実施することにより、子ども会のリーダーや生駒市の青少年リーダーを育成に努める。	(市民)青少年リーダーとして研修に参加し、地域活動の中心として活躍する。		生涯学習課
14	地域のリーダーとして育てている青少年の活動の支援を強化します。	青年協議会活動支援	生駒市青年協議会が市民を対象として開催する事業に協力し、活動を支援する。	(市民)主に親子を対象とした事業を行い、家庭あるいは地域の活性化につなげる。		生涯学習課
15	青少年健全育成団体が活動できる環境の整備・支援を行います。	子ども会育成連絡協議会・スカウト協議会活動支援	青少年健全育成団体である生駒市子ども会育成連絡協議会や生駒市スカウト協議会等の活動に対し、協力や支援を行う。	(市民)子ども会活動やスカウト活動等を通して青少年の健全育成に寄与する。		生涯学習課
16	健全育成パトロールなど、地域ぐるみの児童生徒健全育成事業推進協議会が活動できる環境の整備・取組を推進します。		校区別委員会を設け、中学校区ごとに自主的な活動を推進する。	(市民)地域ぐるみの会議や取組に積極的に参加する。		教育指導課

[評価基準] 進捗状況 a: 目標を上回る達成状況 b: 達成済又は実施済み c: 取組を進めているが目標に達していない d: 事業の検討や計画を開始している e: 着手できていない

(2) 行政が主体的に実施する取組状況

B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	進捗上の課題	担当課
21	青少年が健全に成長できるように、有害環境の浄化など社会環境を改善・整備します。	有害環境浄化活動	市内巡回において有害環境の早期発見に努めるとともに、県・県警等と合同で、書店やレンタルビデオ店など青少年を取り巻く有害環境への立入調査を行う。		生涯学習課
22	市民等が持つ能力を子育てに活かす体制づくりと活動の機会を提供します。	いこまっこ教室・放課後子ども教室	地域住民の方の協力によって開催するいこまっこ教室や放課後子ども教室で、活動の機会を提供する。	放課後子ども教室については、事業を継続・拡充していくために、ボランティアスタッフを募集し育成していく。	生涯学習課

23	子どもたちが地域の中で、安全に安心して遊び、大人たちと交流できる場・機会を提供します。	いこまっこ教室・放課後子ども教室	小学校や生涯学習施設を利用して、安全・安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、勉強や文化活動、地域住民との交流を行う。	放課後子ども教室については、国、県、市の三者が財源を確保して行うため、今後も継続して財源が確保できるか。	生涯学習課
----	---	------------------	---	--	-------

24	青少年に関する相談体制・環境の充実を図ります。	教育相談	教育支援施設に教育相談室を設け、教育相談員やスクールカウンセラーが義務教育終了後の青少年に対し教育相談やカウンセリングにあたる。		教育指導課
25	街頭巡回指導による青少年非行の早期発見など、非行防止活動を強化します。	青少年非行防止地域実践活動事業	各中学校区の青少年指導委員と協力して巡回活動・街頭指導を行い、青少年の非行防止に努める。		生涯学習課

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

4 総合評価

		H22	H23	H24
1 目指す姿の進捗度	市民実感度	c	c	c
	事業者実感度	-	d	d
↑ 1(市民)と2(客観)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓				青少年指導委員の活動や、最近立ち上がった青年層の組織があまり市民に浸透していないため、乖離が生じていると分析するので、今後はPR活動にも力を入れていきたい。
2 客観指標評価		c	c	a
↑ 2(客観)と3(行政)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓		客観指標評価については、事業によって極端な差があり、評価の低いものについては、地域活動の主体たる市民の判断によるものが大きい。		
3 役割分担状況	市民	b	d	d
	地域活動等	b	b	b
	事業者	a	e	e
	行政	支援する取組	a	b
主体的な取組		b	-	-
総合評価 (主担当課の内部評価)		C	C	C
現状の課題と今後の取組 (内部評価がD以下の場合記入)				

[評価基準] A:目標が十分に達成されている B:目標がかなり達成されている C:目標がそれぞれ達成されている D:目標があまり達成されていない E:目標が達成されていない

5 総合計画審議会の意見

進捗状況の内部評価 についての意見			
今後の取組についての意見		前年度 最終評価	C
内部評価を変更した場合の理由		最終評価	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	4	文化・スポーツ活動の推進
基本施策	1	文化活動

目指す姿	①市民が文化活動に活発に参加し、豊かな感性が育っている。 ②市民と行政が協働し、生駒らしい魅力ある文化が創造されている。
------	---

1 目指す姿の進捗度

設問① 市民が文化活動に活発に参加し、豊かな感性が育っている。													
1-1 市民実感度評価							1-2 事業者実感度評価						
回答	件数	比率	得点評価		前回得点評価		回答	件数	比率	得点評価			
そう思う	19	3.8%	5.1	5.1	3.6	3.6	そう思う	3	4.8%	5.6	5.6		
どちらかというと思う	99	19.8%	26.6	20.0	27.5	20.6	どちらかというと思う	20	31.7%	37.0	27.8		
どちらとも言えない	173	34.6%	46.5	23.3	46.0	23.0	どちらとも言えない	23	36.5%	42.6	21.3		
どちらかというと思わない	58	11.6%	15.6	3.9	14.4	3.6	どちらかというと思わない	4	6.3%	7.4	1.9		
そう思わない	23	4.6%	6.2	0.0	8.5	0.0	そう思わない	4	6.3%	7.4	0.0		
わからない	95	19.0%					わからない	9	14.3%				
無回答	33	6.6%					無回答	0	0.0%				
総数	500	100.0%					総数	63	100.0%				
有効回答数	372		100.0	52.2	100.0	50.8	有効回答数	54		100.0	56.5		
評価①			c		c		評価①			c			
設問② 市民と行政が協働し、生駒らしい魅力ある文化が創造されている。													
回答	件数	比率	得点評価		前回得点評価		回答	件数	比率	得点評価			
そう思う	19	3.5%	5.1	5.1	1.0	1.0	そう思う	2	3.2%	3.8	3.8		
どちらかというと思う	85	15.8%	22.7	17.0	18.6	14.0	どちらかというと思う	13	20.6%	25.0	18.8		
どちらとも言えない	176	32.8%	47.1	23.5	44.5	22.3	どちらとも言えない	17	27.0%	32.7	16.3		
どちらかというと思わない	63	11.7%	16.8	4.2	19.0	4.8	どちらかというと思わない	9	14.3%	17.3	4.3		
そう思わない	31	5.8%	8.3	0.0	16.9	0.0	そう思わない	11	17.5%	21.2	0.0		
わからない	138	25.7%					わからない	11	17.5%				
無回答	25	4.7%					無回答	0	0.0%				
総数	537	100.0%					総数	63	100.0%				
有効回答数	374		100.0	49.9	100.0	42.0	有効回答数	52		100.0	43.3		
評価②			c		d		評価②			d			
市民実感度評価			c		c		事業者実感度評価			c			

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民・事業者満足度調査 平成24年5月実施】

2-1 指標評価

No.	指標名	この指標について	指標の動向			
1	市民文化祭の参加者数(人)	毎年秋に実施する市民文化祭(自主学習グループフェスタ、リベラルコンサート、いこま寿大学祭、演劇鑑賞会など)の延べ参加者数。過去の推移を踏まえ、参加者の増加を目指します。				
	担当課	指標区分	計画当初値	直近値	目指す値	
	生涯学習課	参考指標	H20	H24	H25	
	アウトプット	13,800	11,576	15,000		
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度①	評価	
pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	参加申込、プログラム等の配布等参加者実数の算定による	13,000	-232%	e	
			14,760			
					調査サイクル	1年
			<外的要因の有無: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無> PR不足又は団体の主催する成果発表会への参画人数が減少したため。			
2	市民ホールなどの文化施設の市民満足度	平成18年度に実施した「まちづくりに関するアンケート調査」における一般市民の文化施設の満足度。平成8年度に実施したアンケート調査時よりも大幅に向上(約10点)し、施設満足度全体の中でも高い水準であったため、現状の水準の維持を目指します。				
	担当課	指標区分	計画当初値	直近値	目指す値	
	生涯学習課	重要指標	H18	H24	H25	
	アウトカム	54.7	55.7	54.7		
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度①	評価	
pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	市民満足度調査	54.7	-	a	
					調査サイクル	2年
			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>			
3	生涯学習施設の利用者数(人)	たけまるホール、芸術会館、図書館、コミュニティセンター、南コミュニティセンター、北コミュニティセンター等の年間利用者数。施設の利便性の向上を図りながら、市民の文化活動を促進することにより、利用者の増加を目指します。				
	担当課	指標区分	計画当初値	直近値	目指す値	
	施設管理課	重要指標	H20	H24	H25	
	アウトプット	604,460	997,209	630,000		
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度①	評価	
pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	申請者への個別調査	810,000	1922%	a	
			624,892			
					調査サイクル	随時
			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>			

[指標1・3の評価基準] 達成度①:「増加目標」 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下

[指標2の評価基準] 達成度①:「増加目標」 a:54.7点以上 b:50点以上54.7点未満 c:45点以上50点未満 d:40点以上45点未満 e:40点未満

[目標設定パターン] pA:生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、pB:国県の目標等に合わせて設定、pC:全国平均水準にあわせて設定、pD:過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

2-2 代替指標

■補助指標

No.	指標名	この指標について	主体	進捗	H22	H23	H24	H25	代替指標評価
1	市民文化祭はじめ市民の日頃の文化活動を発表する機会への参加者数(人)	毎年秋に実施する市民文化祭(自主学習グループフェスタ、リベラルコンサート、夢リサイタル、いこま寿大学祭など)をはじめ、市民川柳大会、書き初め大会、各種コンサートの延べ参加者数。過去の推移を踏まえ、参加者の増加を目指します。市民の成果発表の機会は、市民文化祭のほか、年間を通じて行っています。	行政	目標	13,000	13,000	13,000	15,000	a
				実績	19,100	16,694	17,727		
3	施設の使用時間区分の変更に伴う、生涯学習施設の利用者数(人)	施設の使用時間区分の変更に伴い、たけまるホール、芸術会館、図書館、コミュニティセンター、南コミュニティセンター、北コミュニティセンター等の年間利用者数の拡充を図る。施設への指定管理者制度の導入や、使用制限の緩和などにより施設の利便性の向上を図りながら、市民の文化活動を促進するとともに、利用者の増加を目指します。	行政	目標	940,046	940,500	941,000	941,500	a
				実績	940,046	952,965	997,209		

[評価基準] 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下

2-3 客観指標評価

<b>客観指標評価</b> (代替指標に置き換えて平均値を算定)	<b>a</b>
----------------------------------	----------

3-1 市民の役割分担状況

3-3 事業者の役割分担状況

設問	文化や芸術に関心を持っている。				設問	地域での多様な文化活動を支援している。				
	回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
	十分取り組んでいる	40	7.6%	8.0%	8.0	十分取り組んでいる	3	4.8%	5.3%	5.3
	取り組んでいる	87	16.5%	17.3%	13.0	取り組んでいる	12	19.0%	21.1%	15.8
	少し取り組んでいる	151	28.6%	30.0%	15.0	少し取り組んでいる	15	23.8%	26.3%	13.2
	あまり取り組んでいない	137	25.9%	27.2%	6.8	あまり取り組んでいない	16	25.4%	28.1%	7.0
	全く取り組んでいない	88	16.7%	17.5%	0.0	全く取り組んでいない	11	17.5%	19.3%	0.0
	無回答	25	4.7%			無回答	6	9.5%		
	総数	528	100.0%			総数	63	100.0%		
	有効回答数	503		100.0%	42.7	有効回答数	57		100.0%	41.2
	評価				d	評価				d

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民・事業者満足度調査 平成24年5月実施】

3-2 地域活動等の役割分担

役割項目	評価	役割分担状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>文化や芸術に関心を持つ土壌の醸成を図る。</li> <li>ボランティア意識を高め、行政と協働し、文化活動の活性化、推進を図る。</li> </ul>	<b>b</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会において文化的な講座や講習会を開催し文化芸術への関心を高める行動が見受けられる。</li> <li>人材バンク登録者や自主学習グループが、自治会、各施設等で文化芸術を普及する活動を行っている。</li> </ul>

[評価基準] a:十分取り組んでいる b:取り組んでいる c:少し取り組んでいる d:あまり取り組んでいない e:全く取り組んでいない

3-4 行政の役割分担

(1)市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の目標水準	行政以外の主体の役割	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
16	文化活動の発表の機会や場を提供します。	市民文化祭の開催	生涯学習施設の指定管理者とも連携して、市民文化祭への参加者数13,000人以上を目指す。	市民文化祭の参加者数13,000人	(市民)市民文化祭行事に参加する。(地域活動等)行事情報の市民への周知に協力する。	c	市民文化祭平成24年10月～12月開催 参加者数:11,576人	出演者、出品者の減に伴う参加者の減少 PR不足	指標	生涯学習課
<b>市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組状況</b>						<b>c</b>				

B 経常的实施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の主体の役割	進捗上の課題	担当課
12	行政と文化活動グループ・団体の協働体制を強化します。	協働による文化行事の開催	市民文化祭を文化芸術団体と行政との協働によって行っている。	(市民)行事に参加する。	行事を担っている団体のスタッフ数が不足し、後継者への継承が危惧される。	生涯学習課
13	グループ・団体間の交流の場の提供や、自主運営に向けた取組を支援します。	生涯学習振興事業(自主学習グループ)	各々の自主学習グループが学習活動を通して学んだ知識や技術を地域に還元することを奨励する目的とし、又文化祭の一環として自主学習グループフェスタ(成果発表会)を開催する。	自主学習グループ連絡会が開催内容の検討、準備、当日受付等をおこなう。		生涯学習課
15	生涯学習まちづくり人材バンク登録者の活動しやすい環境づくりを行います。	生涯学習まちづくり人材バンク事業	生涯学習に関する専門的な知識や経験、技能等を有している人材を発掘し、その情報を提供することにより、市民の多様な学習活動を支援し、豊かな地域社会をつくるために創設した「生涯学習まちづくり人材バンク事業」を運用していきます。	自治会や市民団体、NPOや福祉法人等が人材バンクを活用し、学習活動をおこなう。		生涯学習課
16	文化活動の発表の機会や場を提供します。	市民文化祭の開催	10月から12月までの市民の日頃の文化活動の成果を発表する場を提供するために文化行事を集約し市民文化祭と冠してPRを実施する。自主学習フェスタ・作品展・リベラルコンサート・邦楽邦舞発表会・生駒歴史文化セミナー・いこま大学祭など	(市民)行事に参加する。文化活動を始める。		生涯学習課
		各生涯学習施設の文化事業の実施	各生涯学習施設において、指定管理者による質の高い文化芸術事業を展開する。	(市民)行事に参加する。		生涯学習課
17	行政と協働して文化活動事業を推進する団体、市民の育成を行います。	文化芸術振興団体への支援	文化芸術の振興に寄与する団体がおこなう生駒市の文化の向上に貢献する事業について補助金を交付する。	(市民)文化活動を始める。		生涯学習課

【評価基準】 進捗状況 a: 目標を上回る達成状況 b: 達成済又は実施済み c: 取組を進めているが目標に達していない d: 事業の検討や計画を開始している e: 着手できていない

(2) 行政が主体的に実施する取組状況

A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の目標水準	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
21	各種の文化活動等について、質の高い文化にふれあえる機会を充実します。	生涯学習施設の管理運営	指定管理者制度の導入による利便性の向上などにより、市民の文化活動を促進し、利用者の増加を目指す。	生涯学習施設(中央公民館、図書館、南・北コミセン等)の利用者数810,000人以上を目指す。	a	平成25年3月末生涯学習施設の利用者数: 997,209人		指標	生涯学習施設管理課
22	文化事業に対するアンケート等により市民ニーズを把握し、継続的に事業のスクラップ&ビルドを行いながら、生涯学習施設が各館の特色を活かした事業を計画的に実施します。	生涯学習施設における講座等の実施	生涯学習施設の特色を活かした事業を計画的に実施し、市民満足度調査における文化施設の満足度の向上を目指す。	市民満足度調査における「市民ホールなどの文化施設の満足度」の現状維持(平成18年54.7点)以上を目指す。	a	平成24年度の満足度調査: 55.7%		指標	生涯学習課
行政が主体的に実施する取組状況					a				

B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	進捗上の課題	担当課
21	各種の文化活動等について、質の高い文化にふれあえる機会を充実します。	文化芸術振興団体への支援	文化芸術の振興に寄与する団体がおこなう生駒市の文化の向上に貢献する事業について補助金を交付する。	行事を担っている団体のスタッフ数が不足し、後継者への継承が危惧される。	生涯学習課
		各生涯学習施設の文化事業の実施	各生涯学習施設において、指定管理者による質の高い文化芸術事業を展開する。		生涯学習課

〔評価基準〕 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

4 総合評価

		H22	H23	H24	
1 目指す姿の進捗度	市民実感度	c	c	c	
	事業者実感度	-	c	c	
↑ 1(市民)と2(客観)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓				青年層又は勤務労働者層等に文化行事等への不参加等浸透していない。	
2 客観指標評価		d	b	a	
↑ 2(客観)と3(行政)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓		青年層又は勤務労働者層等の文化施設離れなど利用者層に偏りがある。		青年層又は勤務労働者層等の文化施設離れなど利用者層に偏りがある。	
3 役割分担状況	市民	b	d	d	
	地域活動等	b	b	b	
	事業者	b	d	d	
	行政	支援する取組	b	c	c
		主体的な取組	a	a	a
総合評価 (主担当課の内部評価)		C	C	C	
現状の課題と今後の取組 (内部評価がD以下の場合記入)					

〔評価基準〕 A:目標が十分に達成されている B:目標がかなり達成されている C:目標がそれぞれ達成されている D:目標があまり達成されていない E:目標が達成されていない

5 総合計画審議会の意見

進捗状況の内部評価についての意見			
今後の取組についての意見		前年度最終評価	C
内部評価を変更した場合の理由		最終評価	



まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	4	文化・スポーツ活動の推進
基本施策	2	歴史・伝統文化

目指す姿	市民が住んでいる地域・地区について愛着を持つとともに、歴史・伝統文化を重んじ、文化の担い手として「ふるさと生駒が実感できるまち」となっている。
------	---

1 目指す姿の進捗度

【市民・事業者満足度調査 平成24年5月実施】

設問①	市民が住んでいる地域・地区について愛着を持つとともに、歴史・伝統文化を重んじ、文化の担い手として「ふるさと生駒が実感できるまち」となっている。											
1-1 市民実感度評価						1-2 事業者実感度評価						
回答	件数	比率	得点評価	前回得点評価		回答	件数	比率	得点評価			
そう思う	18	3.4%	4.7	4.7	2.4	2.4	そう思う	6	9.5%	10.5	10.5	
どちらかというと思う	108	20.5%	28.4	21.3	19.3%	14.5	どちらかというと思う	9	14.3%	15.8%	11.8	
どちらとも言えない	173	32.8%	45.5	22.8	46.2%	23.1	どちらとも言えない	22	34.9%	38.6%	19.3	
どちらかというと思わない	55	10.4%	14.5	3.6	21.3%	5.3	どちらかというと思わない	10	15.9%	17.5%	4.4	
そう思わない	26	4.9%	6.8	0.0	10.8%	0.0	そう思わない	10	15.9%	17.5%	0.0	
わからない	126	23.9%					わからない	6	9.5%			
無回答	22	4.2%					無回答	0	0.0%			
総数	528	100.0%					総数	63	100.0%			
有効回答数	380		100.0%	52.4	100.0%	45.3	有効回答数	57		100.0%	46.1	
評価①			c	c	評価①			c				
市民実感度評価			c	c	事業者実感度評価			c				

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

2-1 指標評価

No.	指標名	この指標について	指標の動向		
1	歴史文化系講座開催回数(回)	1年間に市が主催する歴史文化系講座の講座数。 市の歴史や伝統文化を知る機会を増やし、市民の郷土意識の高揚を図ります。			
担当課	指標区分		計画当初値	直近値	目指す値
生涯学習課	参考指標		H20	H24	H25
	アウトプット		2	9	6
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度①	評価
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	6 5.2	219%	a
			市主催講座数の算定		
			調査サイクル		
			1年		
			＜外的要因の有無: □有 □無＞		
2	地域のまつり・伝統芸能などの保全継承に参加している人の割合(%)	平成18年度に実施した「まちづくりに関するアンケート調査」における一般市民の「地域の祭り・伝統芸能などの保全継承」に「よく参加している(6.5%)」「時々参加している(23.7%)」と回答した人の割合。 平成30年度には「現在は参加していないが今後参加してみたい(40.4%)」と回答した人の半数の増加を、平成25年度にはその中間値を目指します。			
担当課	指標区分		計画当初値	直近値	目指す値
生涯学習課	参考指標		H18	H24	H25
	アウトカム		30.2	32.0	40.0
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度①	評価
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	35.0 38.6	21%	d
			市民満足度調査		
			調査サイクル		
			2年		
			＜外的要因の有無: ■有 □無＞		
			ライフスタイルの変化による地域理解の欠如又は新規転入住民への周知不足		

3	ハンドブック「生駒の歴史と文化」の販売数[累計](冊)	市内の多彩な歴史や文化を時代ごとに分かりやすく紹介したハンドブック「生駒の歴史と文化」の累積販売数。郷土の歴史・伝統文化への意識の高揚を図ります。		計画当初値	直近値	目指す値
	担当課	指標区分		H20	H24	H25
	生涯学習課	重要指標		1,300	2,302	3,000
		アウトプット		H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度①	評価
		目標設定パターン		2,400	74%	b
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	ハンドブック販売実数値	調査サイクル	1年	
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>			

[評価基準] 達成度①:「増加目標」・達成度②:「減少目標」 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下  
 [目標設定パターン] pA:生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、pB:国県の目標等に合わせて設定、pC:全国平均水準にあわせて設定、pD:過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

2-2 代替指標

■補助指標

No.	指標名	この指標について	主体	進捗	H22	H23	H24	H25	代替指標評価
3	ハンドブック「生駒の歴史と文化」及び「文化財マップ」等の販売等数[累計](冊)	郷土資料館新設のための市民啓発の一環として、市内の多彩な歴史や文化を時代ごとに分かりやすく紹介したハンドブック「生駒の歴史と文化」及び「文化財マップ」等の累積販売等数。郷土の歴史・伝統文化への意識の高揚を図ります。	行政	目標	5,273	5,354	5,454	5,554	b
				実績	2,856	3,110	3,312		

[評価基準] 達成度 a:80%以上 b:50%以上80%未満 c:30%以上50%未満 d:0%超30%未満 e:0%以下

2-3 客観指標評価

<b>客観指標評価</b> (代替指標に置き換えて平均値を算定)	<b>b</b>
----------------------------------	----------

3-1 市民の役割分担状況

3-3 事業者の役割分担状況

設問	市民の役割分担状況				事業者の役割分担状況				
	自分の住んでいる地域の歴史、伝統文化に関心を持ち、尊重している。				効果的な歴史・伝統文化の保存・継承に積極的に寄与している。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	24	4.8%	5.1%	5.1	十分取り組んでいる	3	4.8%	5.2%	5.2
取り組んでいる	68	13.6%	14.3%	10.8	取り組んでいる	8	12.7%	13.8%	10.3
少し取り組んでいる	155	31.0%	32.7%	16.4	少し取り組んでいる	14	22.2%	24.1%	12.1
あまり取り組んでいない	143	28.6%	30.2%	7.5	あまり取り組んでいない	17	27.0%	29.3%	7.3
全く取り組んでいない	84	16.8%	17.7%	0.0	全く取り組んでいない	16	25.4%	27.6%	0.0
無回答	26	5.2%			無回答	5	7.9%		
総数	500	100.0%			総数	63	100.0%		
有効回答数	474		100.0%	39.7	有効回答数	58		100.0%	34.9
評価				d	評価				d

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

[市民・事業者満足度調査 平成24年5月実施]

3-2 地域活動等の役割分担

役割項目	評価	役割分担状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の歴史や伝統文化を保存・継承し、振興する。</li> <li>郷土愛を育むPRや住民間での啓発を行う。</li> <li>地域における文化的ボランティア活動を推進する。</li> <li>文化団体は、団体間の連携を深める。</li> </ul>	b	郷土資料館新設に向けての啓発活動としても、文化財所有団体のさらなる活動強化とともに、本施設を拠点とした文化財保護、郷土愛醸成につながる取組が必要である。

[評価基準] a:十分取り組んでいる b:取り組んでいる c:少し取り組んでいる d:あまり取り組んでいない e:全く取り組んでいない

3-4 行政の役割分担

(1) 市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の目標水準	行政以外の主体の役割	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
14	生駒の歴史や文化について学ぶ機会の創出を図ります。	歴史文化系講座の開催	歴史文化系講座の開催により、生駒の歴史や文化について学ぶ機会を提供する。	歴史文化系講座を年間6回以上開催する。	(市民)講座に参加する。	a	平成25年3月末:9回開催		指標	生涯学習課
15	市民のふるさと意識の高揚や地域のふれあいの振興を図るため、地域で行うまつりを促進します。	伝統芸能などの保全継承	指定文化財への補助等を通じて、市民満足度調査における「伝統芸能などに参加している割合」35.0%を目指す。	保存継承に参加している人の割合 35.0%	(市民)地元の伝統祭礼行事に参加する。 (地域活動等)行事情報の市民への周知に協力する。 (事業者)地元PR商品開発・協賛に積極的に取り組む。	c	平成24年度の満足度調査:32.0%	時間的余裕のない就業者を中心に郷土愛の醸成が未成熟であったと考えられる。 PR不足	指標	生涯学習課
<b>市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組状況</b>						<b>b</b>				

B 経常的实施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の主体の役割	進捗上の課題	担当課
11 14	・生駒の歴史・伝統文化に関し、市のホームページや冊子等で情報提供します。 ・生駒の歴史や文化について学ぶ機会の創出を図ります。	文化財の普及・活用	生駒の歴史と文化財について、調査報告書の刊行及び広報、HP「生駒市デジタルミュージアム」、ハンドブック「生駒の歴史と文化」、文化財マップ等で紹介するとともに、生駒歴史文化セミナーの開催等をおこなう。	(市民・事業者)情報を取得する。 歴史文化寄附金の収集に協力する。		生涯学習課
12	地域の歴史、伝統文化の保存・継承について参画できるシステムを創出します。	郷土資料館の新設事業	文化財の展示・保存・体験学習・調査研究等の機能を備えた資料館の新設し、資料館を拠点に文化財の保護・防災対策・案内等文化財愛護ボランティアの育成等をおこない、ボランティア組織の構築を図る。	(市民)ボランティア活動に参加する。		生涯学習課
13	地域の歴史、伝統文化についての市民の参画・提案に対する支援や取組を行います。	文化財愛護団体への支援	文化財の愛護に寄与する団体がおこなう市内の文化財調査や普及等文化財保護に貢献する公共公益性の高い事業について補助を交付する。	(市民)愛護団体の活動に参加する。		生涯学習課
14	生駒の歴史や文化について学ぶ機会の創出を図ります。	生涯学習講座	郷土資料館等において、生駒の歴史文化に関連した講座や見学会を開催し、地域の歴史文化に親しむ機会を設ける。	(市民)講座に参加する。		生涯学習課
15	市民のふるさと意識の高揚や地域のふれあいの振興を図るため、地域で行うまつりを促進します。	指定文化財行事の継承支援	県指定・市指定文化財である民俗行事(祭礼)に対して後継者育成等の補助金を交付し、行事の継承を支援する。	(市民)地元の祭礼行事に関心を持つ。		生涯学習課

[評価基準] 進捗状況 a: 目標を上回る達成状況 b: 達成済又は実施済み c: 取組みを進めているが目標に達していない d: 事業の検討や計画を開始している e: 着手できていない

(2) 行政が主体的に実施する取組状況

A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の目標水準	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
21	学校教育での学習教材として、市の歴史や伝統文化の活用を推進し、若年期から郷土愛を持つよう取り組みます。	ハンドブック「生駒の歴史と文化」の頒布	頒布(販売・寄贈を含む)累計2,400冊を目指す。	頒布累計2,400冊	c	平成25年3月末:頒布累計2,302冊	市民の歴史愛好家にほぼいき渡ったように思われる。 PR不足	指標	生涯学習課
23	市所蔵文化財の保存・活用を図るとともに、市民の郷土学習を推進するための拠点を整備します。	生駒歴史文化友の会会員の増員 郷土資料館の新設	現在の会員の更新者及び新規加入者合計100名を目指す。 平成24年6月議会の議決を得て、改修工事に着手し、平成24年度末の工事竣工を目指す。また、展示室の展示設計・施工に着手する。また、平成25年度中の開館を目指して、条例制定や指定管理者制度導入について、検討を進めていく。	生駒歴史文化友の会会員100名 改修工事(平成25年3月)展示設計・施工(平成24・25年度)資料館の開館(平成25年度)	c	平成25年3月末:会員51名 平成24年6月:改修工事着工 平成24年9月:展示設計・施工業務着工 平成24年9月:設置条例制定 平成24年12月:改修工事変更契約締結 平成25年3月:指定管理者の指定	開始キャンペーン時(H23年度)入会者の継続更新が少なかった。PR不足 県教育委員会の指導で、屋根瓦の当初材の再使用と補足材の製作により近代遺産の建築様式を適切に踏襲するため、改修工事の設計変更及び工期延長を行った。	その他 実施計画	生涯学習課 生涯学習課
<b>行政が主体的に実施する取組状況</b>					<b>c</b>				

B 経常の実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	進捗上の課題	担当課
21	学校教育での学習教材として、市の歴史や伝統文化の活用を推進し、若年から郷土愛を持つよう取り組みます。	郷土愛、文化財愛護意識の高揚	HP「生駒市デジタルミュージアム」、ハンドブック「生駒の歴史と文化」、埋蔵文化財情報紙「はっくついま」、文化財マップ等の軽微な小冊子による紹介普及、郷土資料館において青少年対象の展示、取組をおこなう。		生涯学習課
22	市内にある文化財・伝統芸能の保存と活用を進めます。	市指定文化財	各分野の調査の成果を踏まえて、市内に存する文化財で国及び県の指定文化財を除いたもののうち、生駒市にとって重要なものを市指定文化財として顕彰し活用・保存を図る。		生涯学習課
23	市所蔵文化財の保存・活用を図るとともに、市民の郷土学習を推進するための拠点の検討を行います。	郷土資料館の新設事業	文化財の展示・保存・体験学習・調査研究等の機能を備えた資料館を新設し、資料館を拠点に文化財の保護・防災対策・案内等文化財愛護ボランティアの育成等をおこない、ボランティア組織の構築を図る。	・リピーターの確保 ・ボランティアの育成	生涯学習課

〔評価基準〕 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

4 総合評価

		H22	H23	H24	
1 目指す姿の進捗度	市民実感度	c	c	c	
	事業者実感度	-	c	c	
↑ 1(市民)と2(客観)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓					
2 客観指標評価		b	b	b	
↑ 2(客観)と3(行政)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓					
3 役割分担状況	市民	b	d	d	
	地域活動等	b	b	b	
	事業者	b	d	d	
	行政	支援する取組	a	a	b
		主体的な取組	a	b	c
総合評価（主担当課の内部評価）		B	B	C	
現状の課題と今後の取組 (内部評価がD以下の場合記入)					

〔評価基準〕 A:目標が十分に達成されている B:目標がかなり達成されている C:目標がそこそこ達成されている D:目標があまり達成されていない E:目標が達成されていない

5 総合計画審議会の意見

進捗状況の内部評価 についての意見			
今後の取組についての意見		前年度 最終評価	B
内部評価を変更した場合の理由		最終評価	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	4	文化・スポーツ活動の推進
基本施策	3	スポーツ・レクリエーション

目指す姿	①体力や年齢に関わらず、誰でも、技術、興味、目的に応じて、生涯スポーツに親しむことで、心身ともに健康に暮らしている。 ②子どもの体力・運動能力が向上している。
------	--

1 目指す姿の進捗度

設問①	体力や年齢に関わらず、誰でも、技術、興味、目的に応じて、生涯スポーツに親しむことで、心身ともに健康に暮らしている。												
1-1 市民実感度評価							1-2 事業者実感度評価						
回答	件数	比率	得点評価	前回得点評価	回答	件数	比率	得点評価	前回得点評価	回答	件数	比率	得点評価
そう思う	25	5.0%	6.6%	6.6	4.7%	4.7	そう思う	2	2.9%	3.7%	3.7	3.7	3.7
どちらかというと思う	109	21.8%	29.0%	21.7	33.3%	25.0	どちらかというと思う	13	18.8%	24.1%	18.1	18.1	18.1
どちらとも言えない	175	35.0%	46.5%	23.3	38.8%	19.4	どちらとも言えない	28	40.6%	51.9%	25.9	25.9	25.9
どちらかというと思わない	49	9.8%	13.0%	3.3	13.0%	3.3	どちらかというと思わない	7	10.1%	13.0%	3.2	3.2	3.2
そう思わない	18	3.6%	4.8%	0.0	10.2%	0.0	そう思わない	4	5.8%	7.4%	0.0	0.0	0.0
わからない	96	19.2%					わからない	13	18.8%				
無回答	28	5.6%					無回答	2	2.9%				
総数	500	100.0%					総数	69	100.0%				
有効回答数	376		100.0%	54.9	100.0%	52.3	有効回答数	54		100.0%	50.9	50.9	50.9
評価①			c	c	評価①			c					
設問②	子どもの体力・運動能力が向上している。												
回答	件数	比率	得点評価	前回得点評価	回答	件数	比率	得点評価	前回得点評価	回答	件数	比率	得点評価
そう思う	15	2.8%	4.5%	4.5	2.6%	2.6	そう思う	1	1.4%	2.1%	2.1	2.1	2.1
どちらかというと思う	55	10.2%	16.4%	12.3	5.7%	4.3	どちらかというと思う	2	2.9%	4.3%	3.2	3.2	3.2
どちらとも言えない	131	24.4%	39.1%	19.6	39.8%	19.9	どちらとも言えない	25	36.2%	53.2%	26.6	26.6	26.6
どちらかというと思わない	90	16.8%	26.9%	6.7	29.1%	7.3	どちらかというと思わない	11	15.9%	23.4%	5.9	5.9	5.9
そう思わない	44	8.2%	13.1%	0.0	22.8%	0.0	そう思わない	8	11.6%	17.0%	0.0	0.0	0.0
わからない	177	33.0%					わからない	20	29.0%				
無回答	25	4.7%					無回答	2	2.9%				
総数	537	100.0%					総数	69	100.0%				
有効回答数	335		100.0%	43.1	100.0%	34.1	有効回答数	47		100.0%	37.8	37.8	37.8
評価②			d	d	評価②			d					
市民実感度評価			c	c	事業者実感度評価			c					

[評価基準] 得点評価 a:75以上 b:60以上75未満 c:45以上60未満 d:30以上45未満 e:30未満

【市民・事業者満足度調査 平成24年5月実施】

2-1 指標評価

No.	指標名	この指標について	指標の動向					
1	市内体育施設の利用者数(人)	市内体育施設(体育館、グラウンド、テニスコート、プール等)の年間利用者数。過去の利用者数の推移を踏まえ、施設の利便性の向上に努めながら利用者の増加を目指します。				計画当初値	直近値	目指す値
			H20	H24	H25			
			514,309	911,603	603,000			
			H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度①	評価			
			850,000	560%	a			
担当課	指標区分	指標の把握方法(数値の出所)	市内社会体育施設利用状況集計表					
スポーツ振興課	重点指標 アウトプット							
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	市内社会体育施設利用状況集計表					
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>					
2	市内各種スポーツイベントなどの参加者数(人)	市が主催する市民体育祭、市民体育大会、スポーツ教室などの参加者数。過去の参加者数の推移を踏まえ、平成30年度には15%程度の増加を、平成25年度にはその中間値を目指します。				計画当初値	直近値	目指す値
			H20	H24	H25			
			16,920	17,768	18,200			
			H24年度設定目標 H24年度客観目標	達成度①	評価			
			19,500	83%	a			
担当課	指標区分	指標の把握方法(数値の出所)	各種スポーツイベント参加者集計表					
スポーツ振興課	重点指標 アウトプット							
	目標設定パターン	指標の把握方法(数値の出所)	各種スポーツイベント参加者集計表					
	pA	目標が未達成(c以下)の場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>					
<b>客観指標評価</b>						<b>a</b>		

[評価基準] 達成度①:「増加目標」・達成度②:「減少目標」 達成度 a: 80%以上 b: 50%以上80%未満 c: 30%以上50%未満 d: 0%超30%未満 e: 0%以下

[目標設定パターン] pA: 生駒のありたい姿を示す理想的な水準として設定、pB: 国県の目標等に合わせて設定、pC: 全国平均水準にあわせて設定、pD: 過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定

3-1 市民の役割分担状況

3-3 事業者の役割分担状況

設問	市民の役割分担状況				設問	事業者の役割分担状況			
スポーツサークルへの積極的な参加など、定期的な運動の機会をつくっている。					地域に根ざしたスポーツ活動を推進している。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	39	7.3%	7.9%	7.9	十分取り組んでいる	1	1.4%	1.6%	1.6
取り組んでいる	53	9.9%	10.7%	8.0	取り組んでいる	3	4.3%	4.7%	3.5
少し取り組んでいる	76	14.2%	15.3%	7.7	少し取り組んでいる	13	18.8%	20.3%	10.2
あまり取り組んでいない	111	20.7%	22.4%	5.6	あまり取り組んでいない	20	29.0%	31.3%	7.8
全く取り組んでいない	217	40.4%	43.8%	0.0	全く取り組んでいない	27	39.1%	42.2%	0.0
無回答	41	7.6%			無回答	5	7.2%		
総数	537	100.0%			総数	69	100.0%		
有効回答数	496		100.0%	29.1	有効回答数	64		100.0%	23.0
評価				e	評価				e

[評価基準] 得点評価 a: 75以上 b: 60以上75未満 c: 45以上60未満 d: 30以上45未満 e: 30未満

[市民・事業者満足度調査 平成24年5月実施]

3-2 地域活動等の役割分担

役割項目	評価	役割分担状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域におけるスポーツ振興組織を設立する。</li> <li>地域スポーツの振興と団体相互の交流活動を行う。</li> </ul>	a	(一財)生駒市体育協会の役員が中心となり、生駒市で初となる「総合型地域スポーツクラブ」の設立に向けた活動がなされている。また、体育祭において自治会からの推薦出場や地区別体力づくり活動事業として、各小学校区等でハイキングやスポーツイベントなどを開催し、スポーツ活動を通じた地域交流が実施されている。

[評価基準] a:十分取り組んでいる b:取り組んでいる c:少し取り組んでいる d:あまり取り組んでいない e:全く取り組んでいない

3-4 行政の役割分担

(1) 市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組

A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の目標水準	行政以外の主体の役割	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
12	スポーツの楽しさを知るためのきっかけとなるようなイベントを開催します。	各種スポーツイベントの開催	市民体育祭、市民体育大会、各種スポーツ教室等を開催し、市民のスポーツ活動の活性化を図る。	スポーツイベントなどの参加者数19,500人以上を目指す。	(市民) 広報紙やホームページなどを閲覧し、積極的にスポーツイベントに参加する。	c	平成25年3月末スポーツイベント参加者数は17,768人。	ソフトボール大会、ファミリースポーツの集いが天候不順のため中止となる。	指標	スポーツ振興課
<b>市民・地域活動等・事業者が役割を果たせるよう支援する取組状況</b>						c				

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組を進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

B 経常的実施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	行政以外の主体の役割	進捗上の課題	担当課
11	市民や事業者のスポーツ・レクリエーション活動の現状等を把握し、興味や関心を持つ活動を見つけられる機会を設けます。	スポーツに関する市民意識調査	平成20年度に実施した「スポーツに関する市民意識調査」の結果をもとに、市民・事業所等のスポーツの活動状況を把握し、ニーズにあったスポーツ事業を展開する。	市民個人及び事業所にて可能なスポーツを実施する。		スポーツ振興課
12	スポーツの楽しさを知るためのきっかけとなるようなイベントを開催します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民体育大会</li> <li>市民体育祭</li> <li>ファミリースポーツの集い</li> <li>スポーツ教室</li> <li>体育館無料開放事業</li> <li>小学生長距離走記録会</li> </ul>	春には市民体育大会、秋には市民体育祭・ファミリースポーツの集い、また年間を通して19種類のスポーツ教室等を開催している。これらの事業は、広く市民の間に体育・スポーツを普及し、市民の健康を増進するとともに、生活を明るく豊かなものにしようとするものであり、市民の体力づくり・健康づくりの中核としてスポーツへの関心を一層高め、市民が広くスポーツに参加できる機会とする。また、地域における子ども達の遊び場を提供するとともに、子ども達の体力低下傾向に歯止めをかけるため、市内中学生以下を対象とした体育館無料開放事業や小学生を対象とした長距離走記録会など、「スポーツ」を通して交流を図るとともに「からだを動かすことの楽しさ」に気づいてもらうことを目的とする。	市民が広報やホームページを見て、積極的にスポーツ事業へ参加する。		スポーツ振興課
13	市民、事業者などが必要とする情報を、より簡単な方法で入手できるようなシステムを構築します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットでの施設予約システム</li> <li>インターネットによるスポーツイベント情報の提供</li> </ul>	奈良県電子自治体共同運営システム「e古都なら」を導入することにより、インターネットによる施設の空き状況の確認やネット予約など、利用者の利便性を図る。また、市ホームページ上でスポーツイベントの紹介をするなど、より広く情報提供できる環境を整えていく。	施設予約や情報収集に関しては、インターネットを利用する。		スポーツ振興課
14	地域でスポーツ・レクリエーション活動が活発に行われるような組織づくり、環境づくり、指導者の育成を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツクラブ育成事業</li> <li>体育指導委員活動事業</li> </ul>	一般財団法人生駒市体育協会に加盟する28競技団体に対し、スポーツ活動の強化及び活性化を図るための事業に必要な経費の一部を補助し、本市のスポーツの普及及び振興を図る。また、スポーツ基本法の規定に基づき設置されたスポーツ推進委員により、市民に対して、スポーツ実技の指導やスポーツ活動促進のための組織の育成を行うとともに、市民団体などが行うスポーツに関する行事などに協力するなど、市民に対しスポーツの奨励を行う。	地域で実施したいスポーツ等について、競技団体の指導者やスポーツ推進委員を要請する。		スポーツ振興課

15	総合型地域スポーツクラブの設立に向けての啓発活動を行います。	総合型地域スポーツクラブ設立に対する啓発	総合型地域スポーツクラブを広く市民に知ってもらうため、市内スポーツ関係団体への啓発を行うとともに、平成22年4月にオープンした「奈良県スポーツ支援センター」と連携をとり、総合型地域スポーツクラブ設立についての啓発活動を行う。	市民が地域スポーツクラブに加入し、各種プログラムに参加する。		スポーツ振興課
----	--------------------------------	----------------------	--	--------------------------------	--	---------

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

(2) 行政が主体的に実施する取組状況

A 部の仕事目標設定事業

取組No.	取組項目	事業名	具体的内容	今年度末の目標水準	評価	達成状況	未達成の理由	区分	担当課
23	スポーツ施設のバリアフリー化を進めます。	体育施設の管理運営	体育館、グラウンド、テニスコート等の体育施設の適正な管理運営と利便性の向上に努め、利用者の増加を目指す。	体育施設の利用者数 850,000人以上を目指す。	a	平成25年3月末体育施設利用者数は911,603人		指標	スポーツ振興課
<b>行政が主体的に実施する取組状況</b>					<b>a</b>				

[評価基準] 進捗状況 a:目標を上回る達成状況 b:達成済又は実施済み c:取組みを進めているが目標に達していない d:事業の検討や計画を開始している e:着手できていない

B 経常的实施計画事業

取組No.	取組項目	事業名	事業内容	進捗上の課題	担当課
21	市民意識調査に基づき、生駒市スポーツ振興基本計画を策定します。	・スポーツ振興基本計画策定事業	平成20年度に実施した「スポーツに関する市民意識調査」の結果をもとに、生駒市スポーツ振興審議会の意見やパブリックコメントを参考に、スポーツ振興基本計画を策定する。		スポーツ振興課
22	それぞれのニーズに対応した質の高いスポーツ指導者の育成や発掘を行います。	・スポーツ指導者養成事業 ・スポーツボランティア登録制度	市民の多様化するスポーツ活動に対応するため、スポーツリーダーの登録制度を設け、必要とされるスポーツ指導者の養成事業の経費の一部を補助し、地域におけるスポーツ活動の活性化及び振興を図る。 また、スポーツボランティア登録制度を設け、市主催スポーツイベントなどの運営や補助を依頼。更にはその経験を生かし、企画なども行ってもらえるような人材を育成する。		スポーツ振興課
23	スポーツ施設のバリアフリー化を進めます。	体育施設整備事業	市内体育施設は1990年以前に建設されたものが多く、未だバリアフリー化されていない部分もあるため、今後は各施設を調査し検討した上で、高齢者・障がい者なども集うことができる、コミュニティ施設とするとともに、施設の老朽化により機能が低下している設備もあるため、利用者が安全に安心して使用することができる施設の整備を行う。 また、各体育館は災害時の避難所ともなることから防災上の拠点施設として耐震改修を含めた整備の検討も必要である。		スポーツ振興課
24	全国大会や国際大会で活躍できる競技者の育成を推進します。	スポーツ競技大会派遣事業補助金	全国大会や国際的大会等へ参加するための必要な経費の一部を補助する。 技術力の高いスポーツ競技選手と技を競うスポーツ競技大会(全国・国際大会等)に参加することで、本市代表選手の技術力の向上を図るとともにスポーツを通じた親睦とその選手の功績によるスポーツ振興を図ることを目的とする。 (H23) 全国大会等派遣 16件(76人)		スポーツ振興課



4 総合評価

		H22	H23	H24	
1 目指す姿の進捗度	市民実感度	c	c	c	
	事業者実感度	-	c	c	
↑ 1(市民)と2(客観)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓		・スポーツが担う地域コミュニティの形成や健康保持増進に対する重要性の認識不足 ・市が主催するスポーツイベントの認知不足	・スポーツが担う地域コミュニティの形成や健康保持増進に対する重要性の認識不足	・スポーツが担う地域コミュニティの形成や健康保持増進に対する重要性の認識不足 ・スポーツをする方が限定されている	
2 客観指標評価	客観指標	a	a	a	
↑ 2(客観)と3(行政)の評価に 2ランク以上の乖離がある場合の原因分析 ↓				・スポーツイベントの種類が限定されている ・スポーツイベントへの参加意識が薄れてきている(地域のつながり)	
3 役割分担状況	市民	a	e	e	
	地域活動等	a	a	a	
	事業者	b	e	e	
	行政	支援する取組	a	a	c
		主体的な取組	a	a	a
<b>総合評価 (主担当課の内部評価)</b>		<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	
現状の課題と今後の取組 (内部評価がD以下の場合記入)					

[評価基準] A: 目標が十分に達成されている B: 目標がかなり達成されている C: 目標がそこそこ達成されている D: 目標があまり達成されていない E: 目標が達成されていない

5 総合計画審議会の意見

進捗状況の内部評価 についての意見			
今後の取組についての意見		前年度 最終評価	B
内部評価を変更した場合の理由		最終評価	